

～ミクロの世界のぞいてみよう(出前授業・特別講座)～



授業の様子(H23 芦原小)

彩湖自然学習センターでは、センター授業の他に、市内小・中学校への出前授業も行っています。6月は、5年生理科「メダカの食べ物」の学習で水中の小さな生物の観察を行います。センター近くの田んぼの水を学校に持って行き、顕微鏡で観察します。田んぼの水の中には、ミジンコ、ゾウリムシ、ミカツキモ、などの小さな生物がたくさん見られます。子どもたちは、初めて見るミクロの世界に興味津々。ミジンコもよく見

てみるといろいろな種類があり、かわいいですよ。

この授業はととても好評でした。そこで、センターでは、8月5日(日)に水中微生物を研究している大学の先生を講師にお招きし、特別講座を計画しています。教科書には、写真が載っていてもなかなか実物を見ることのできないクンショウモやイカダモ、ツツミモなども観察します。カワセミ通信や広報誌、ホームページなどで今後お知らせしていきます。興味のある方はぜひご参加下さい。(T)

季節の生き物

ツバメ(スズメ目ツバメ科)

センターの周りを歩いていると、横をすり抜ける様に飛んでいくスマートな鳥。のどと額は赤く、まさに燕尾服をまとったような凛々しい姿です。ツバメは台湾、フィリピンなどで冬越しし、夏鳥として日本にやって来ます。民家の軒先などの建造物に、泥と枯れ草に唾液を混ぜてお椀型の巣をつくり、皆さんも、駅などでツバメの巣を見かけたことはありませんか？どうやら、人間の暮らしているそばに巣をつくり、カラスなどからの攻撃を受けにくくしているらしいです。



巣立った若鳥は、子育てが終わった親鳥たちとともに、アシ原などに集団のねぐらを作ります。センターでは若鳥達が飛びながら盛んにミニ彩湖の水を飲む姿も見られます。何年か前にはセンターにも巣を作っていましたが、ある日何者かに襲われたか、巣が壊されていてそれっきり作りに来なくなっていました…また作ってくれると嬉しいな～と思っています。

ちなみに「チュピクチュツリリリリ…」という鳴き声を、昔の人は「虫食って土食ってしぶーい」と聞いたそうです。ほんとにそう聞こえるか、耳をすませてみてくださいね。(R)

講座案内(7月)

7月22日(日) 自然観察会 雨天中止

「夏の夜の生きもの」

夏の夜には、昼間には見られないおもしろい生きものが見られます。ライトトラップに集まる昆虫や、夜に咲く花などを観察してみませんか？夏の夜の楽しさが体験できますよ。

対象：一般・親子

定員：20名 時間：18:45～21:00

持ち物：懐中電灯(一人1台)、長袖・長ズボン(虫除けのため)、首に巻くタオル、虫よけスプレー

夜の彩湖は街灯もほとんど無く、かなり暗くなっています。暗い道を観察場所まで徒歩で移動しますので、安全のため、懐中電灯はお一人1台お持ち下さい。

参加費：100円(保険代)



7月25(水)・28日(土) こども自然観察教室 雨天実施

「紙ねんどで魚をつくろう」

紙ねんどを使って、荒川に棲む魚を作ります。1日目はセンターの水槽に居る魚を観察したあと、紙ねんどで魚の形を作ります。2日目に色を塗ったら完成！自分だけの可愛いお魚をつくりませんか？

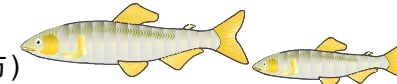
対象：小学生、中学生(2日間とも参加できる方)

定員：20名 時間：10:00～12:00(両日とも)

持ち物：1日目…筆記用具、色えんぴつ

2日目…筆記用具、色えんぴつ、絵の具、筆、水入れ、作品を持ち帰る袋

参加費：300円(材料費)



7月29日(日) 生きものを育てよう 雨天実施

「スズムシ配布」

毎年恒例のスズムシ配布です。今年もセンターで大切に育てたスズムシを皆様にお分けします。

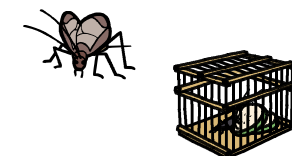
対象：スズムシを責任を持って飼育できる方

定員：先着100組 一家族1セット配布します。

時間：13:30より センター4階学習室で配布

持ち物：スズムシを持ち帰る容器(土を入れたもの、ビニール袋等不可)

参加費：無料 スズムシ配布については、特に申込みはいりません。



(申込方法)

お電話または、直接来館してお申し込みください。(申込みは、代理の方でも結構です。)なお、申込みは、講座の1か月前から受け付けています。(スズムシ配布以外) また、各講座は、定員になり次第、受付を終了させていただきます。

電話：048-422-9991 詳しくは彩湖自然学習センターホームページ(<http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html>)をご覧ください。